

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学4							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・夜間部	3年	4期	山中 直樹			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として、各損傷を正しく評価するために、胸・腹部疾患および神経疾患の特徴を理解し、損傷との鑑別をより正確に把握できるように学んでいきます。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為にそこに係わる生理的要素(内臓機能、神経機能等)の知識を習得すると共に臨床において生理的要素の視点から損傷や障害に対して説明できる態度を身に付ける。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 内臓機能について理解し。 2. 神経機能について理解し説明する事ができる。 3. 生理的要素に関する損傷や障害について理解し説明する事ができる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
すべての教科の基盤である解剖学、とくに内臓系と神経系の部分の予習復習を大事にしてください。							
教科書・参考書							
教科書:『柔道整復学・理論編』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)一般臨床医学改訂第3版』医歯薬出版株式会社 『解剖学 改訂第2版』医歯薬出版株式会社							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業で必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	「損傷」に係る生理的要素①			P.99～111	教科書・筆記用具		
第2回	「損傷」に係る生理的要素②			P.112～123	教科書・筆記用具		
第3回	「損傷」に係る生理的要素③			P.124～135	教科書・筆記用具		
第4回	「損傷」に係る生理的要素④			P.136～147	教科書・筆記用具		
第5回	「損傷」に係る生理的要素⑤			P.148～159	教科書・筆記用具		
第6回	「損傷」に係る生理的要素⑥			P.160～172	教科書・筆記用具		
第7回	「損傷」に係る生理的要素⑦			P.220～236	教科書・筆記用具		
第8回	「損傷」に係る生理的要素⑧				教科書・筆記用具		
第9回	試験				教科書・筆記用具		
第10回	解説、復習				教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院に8年間勤務。また、鍼灸院を開業して12年の訪問診療等における実務経験をもとに解剖学・一般臨床医学の要素について話をします。							
メールアドレス							
yamanaka@nihonisen.ac.jp							